魔法のダイヤリープロジェクト　関西セミナー
２０１８．８．１９

たくさんの伝えあいを支えるiPad

大阪府立寝屋川支援学校　小学部　日置節子

学校紹介





大阪府立寝屋川支援学校

◉知的障がい

◉小・中・高等部

◉児童数

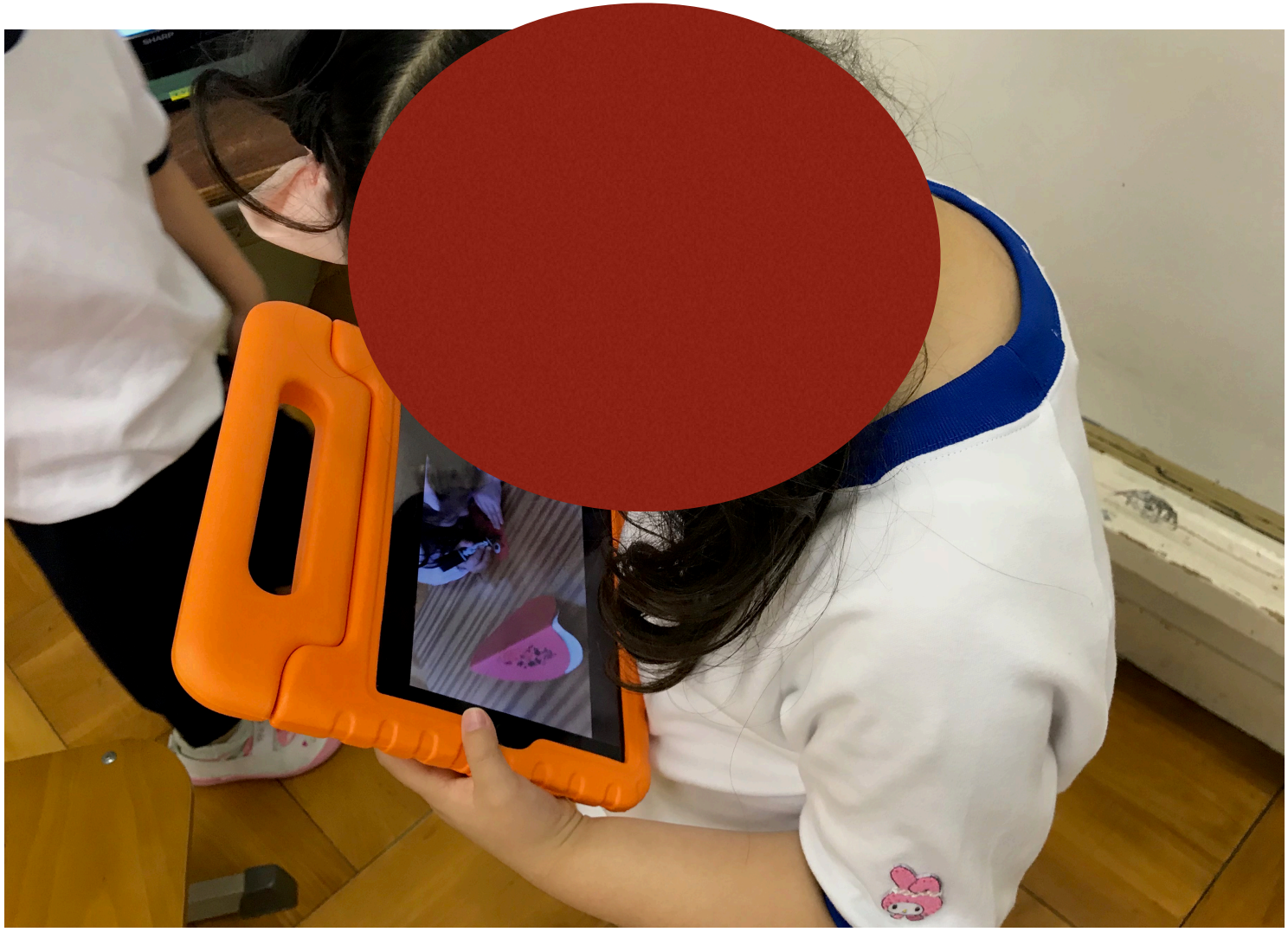
小学部：１２３名　　１年生：２７名

◉通学範囲

寝屋川市、大東市、四條畷市 、門真市

対象児：Sちゃん　４月に入学した１年生

感情表現が豊かで、色々なことに興味を持って楽しむ、活発な女の子



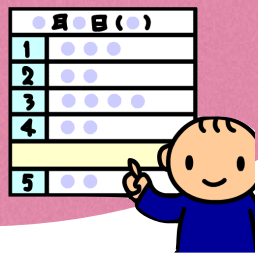
◉知的障害（療育手帳A）　◉太田ステージ　Ⅲ－１

入学した頃のSちゃん



環境の変化





4月

5月

- 登下校　あそび
- 登下校　学習活動　あそび
- 登下校　学習活動　給食　あそび
- 登下校　学習活動（集団活動・行事）　給食　あそび

取り組む活動内容を少しず増やしながら、
学校生活に慣れていくことができた

入学した頃のSちゃん

画像の活用：Sちゃんに学校を知って欲しい
安心できる場所にして欲しい



動画や写真で、これから取り組むことや、向かう場所を事前に予習・予告（朝の会・クラス全体での視聴）

４月の終わり　Ｓちゃんの誕生会

画像の活用：Ｓちゃんに誕生会があるということをイメージして欲しい



前日の下校前・当日の朝に
誕生日の歌ビデオを視聴



ケーキのイラストを見ながら
ろうそくを吹く真似をしあう

積極的に誕生会に参加。学年の友だちみんなの前で、笑顔でろうそくを吹き消すことができました

入学した頃のSちゃんの様子

◉次のことを見て、聞いて、はっきりわかると、行動がスムーズ（長い言葉での表現は理解が難しい様子）



「次は着替えをするよ」という言葉かけと一緒に、担任に体操服を広げられ、着替えスタート。一人でやり遂げる。

入学した頃のSちゃんの様子

◉友だちの様子を見て、同じように行動しようとする
（動作模倣の力が高く、活動への取り組みが積極的）



Aちゃんに「Sちゃん、だいふきをしよう」と誘われて「うん」と返事。
手渡された布巾で、楽しげに台拭きをする。

幼稚園との引き継ぎ

◉友だちに好かれるSちゃん

◉落ち着いて集団での活動に参加できた

◉励まされると苦手なことも頑張れた



Sちゃんの「言葉」について気になる引き継ぎ

◉自分から発する言葉が少なかった

◉音声模倣の練習をしていた。単語の最後の一文字を言うことが増えていた

◉友だちの前で自分の名前を言えず、泣いたことがある

入学した頃のSちゃんの様子

いろいろなことを伝えるSちゃん

- 見せたい物を、相手のところまで手渡しにいく
  「みってー」
- 友だちが持っている物を、取りに行く
  「かってー」
- トランポリンのある遊戯室の方向を指差す
  担任「トランポリンするの？」Sちゃん「うん！」

「言葉」に「行動」「指差し」を組み合わせ

Sちゃんの「言葉」をピックアップしてみると…

＜呼びかけ＞

せんせー

おはよー

＜相手の言葉への応答＞

うん（同意・返事）

やーや（拒否）

はい（返事）

＜要求＞

かってー（貸して）

みってー（○○見て）

てー（○○して）

こー（トイレに行きたい）

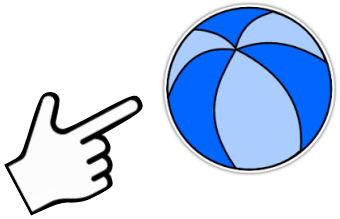
やーや（やめて）

たい（痛いところを押さえて痛い）

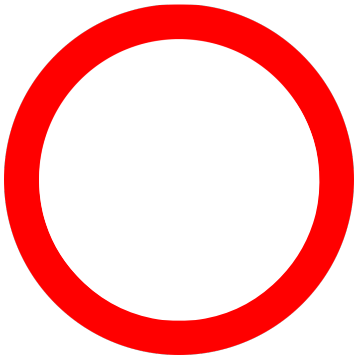
相手に伝わる言葉の種類は多くなかった

Sちゃんの表現の特徴

「○○はどれ？」
と聞かれると指差し







「これは何？」
と聞かれると「・・・」

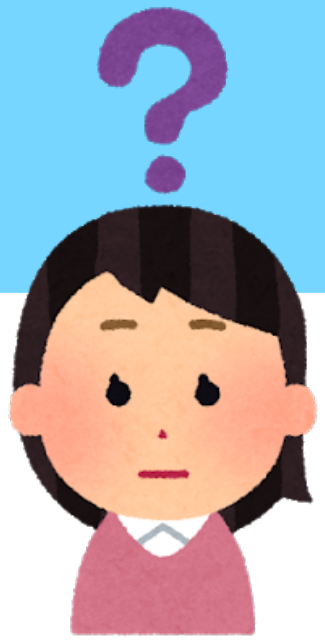


（言葉にならないことが多い）



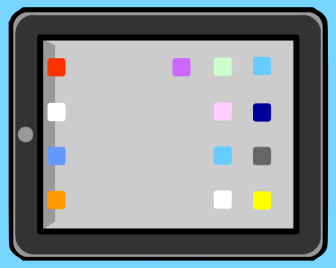
Sちゃんは相手に色々伝えているけれど…

「物」や「活動」の名称を伝える
言葉や表現が少ない
なぜ？



物や活動を示す「言葉」を
言葉で表出できるまでは覚えていない？

動画・写真・音声で確かめながら
言葉を覚えよう！



取り組む中で意識したこと①

＜覚える言葉の選び方＞

Sちゃんに馴染みの深い「物」や「活動」から言葉を選ぶ

理由：伝え合いを確実に実感できる機会を増やしたいと考えた

取り組む中で意識したこと②

＜覚える言葉を示す方法＞

「画像」と共に「言葉」をはっきりと伝える

言葉には「身振り」も添えて、Sちゃんに伝える

理由：言葉を一音ずつゆっくり、はっきりと話すようにした

Sちゃんは動作模倣が得意。身振りも添えるようにした

取り組む中で意識したこと③

＜取り組みの場面をいつにするか＞

実際の活動の流れの中で取り組む

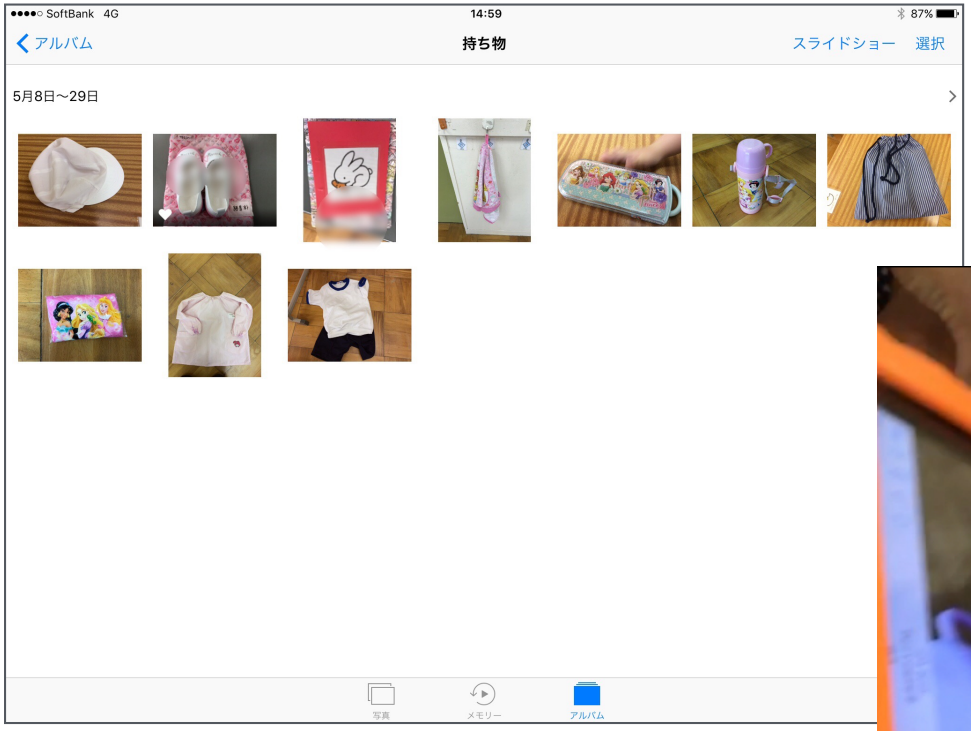
画像を見返す機会を、帰りの会等で持つ

理由：活動場面で取り組むことで、やりとりへの気持ちが高まると考えた

動画を見返す時間は帰りの会などで別に設けた

持ち物の言葉を覚えよう：カバンの片付け場面

Sちゃんの鞄の中やロッカーの中にあるものをピックアップ





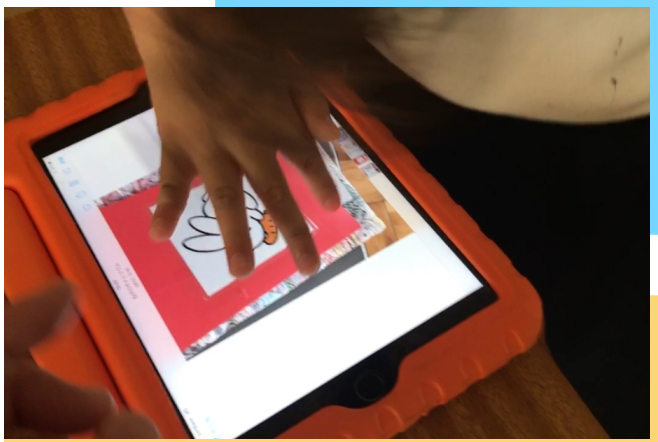
片付け時に
①写真を見る　②言葉を聞いたり音声模倣したりする
という活動を繰り返した

持ち物の言葉を覚えよう：カバンの片付け場面　その１

◉れんらくちょう　を　Sちゃんが言葉で表現するまで

言葉・写真・身振りで確かめよう！

担任：写真を見せる
「れ・ん・ら・く・ちょう」
指で四角を空に描く
（連絡帳の意味の身振り）



Sちゃん：写真を見る
「・・ちょー」と語尾を音声模倣



連絡帳を取りに行く

持ち物の言葉を覚えよう：カバンの片付け場面　その２

◉れんらくちょう　を　Sちゃんが言葉で表現するまで

担任：「れ」と言いながら、指で四角を空に描く
（　写真は見せない　）

Sちゃん：担任を注視しながら音声表現
「れ・ん・ら・く・ちょー」



連絡帳を取りに行く

活動の言葉を覚えよう：生活・遊び場面

Sちゃんの好きなこと、共有できる楽しい活動を見つける



・活動の様子を写した動画（１０秒程度）を撮った

活動の言葉を覚えよう：生活・遊び場面

◉トランポリン　をSちゃんが自ら表現するまで

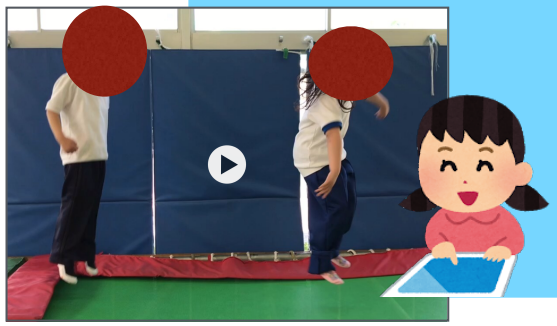
担任：「何をして　遊ぶ？」

Sちゃん：遊戯室の方向を指差し

担任：「と・ら・ん・ぽ・り・ん」

動画を見せる

身振りを添える





Sちゃん：言葉・身振りを模倣

活動の言葉を覚えよう：生活・遊び場面

◉トランポリン　をSちゃんが自ら表現するまで

担任：「何をして　遊ぶ？」

Sちゃん：身振りで『トランポリン』



担任：「トランポリン　するの？」

Sちゃん：「うん」

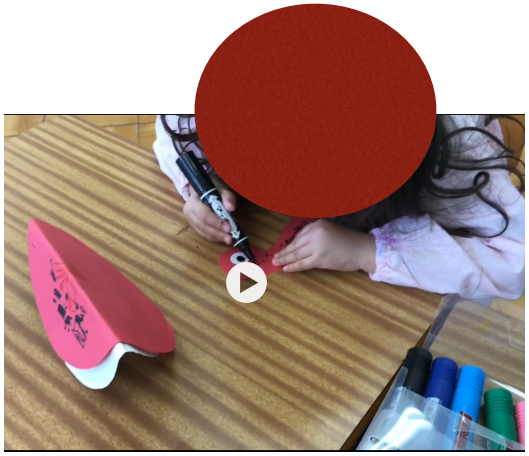
活動を表す言葉を覚えよう

トランポリンの表現獲得までと同じ取り組みを、Sちゃんが日常的に楽しんでいる活動でも並行して行う

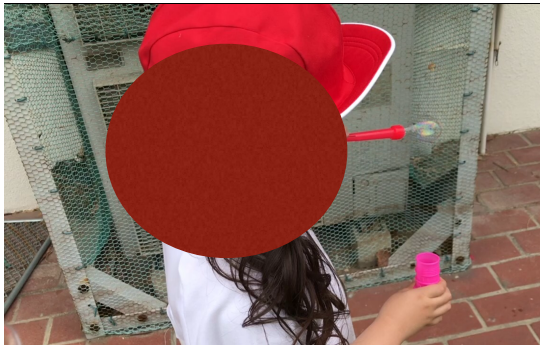
＜具体例＞



追いかけっこ



お絵かき

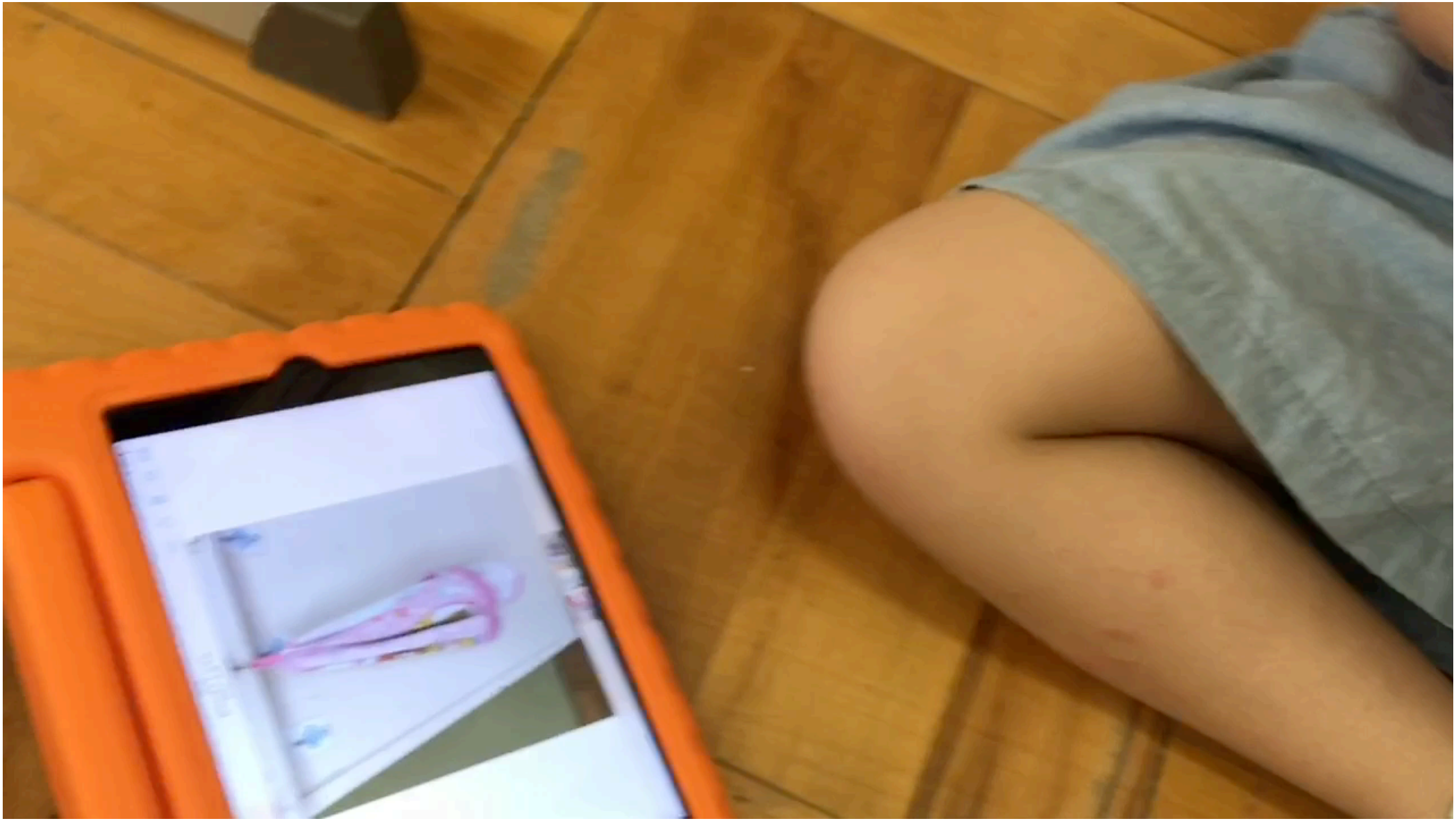


シャボン玉

◉指差し、行動で伝えようとするSちゃんの表出に、即時的に取り組みを加えるようにした

◉動画を見ることが出来ない時は、言葉と身振りを使ってSちゃんと確かめ合った

取り組み後の変化　７月　言葉での表現



担任が「これ何？」と尋ねると、「たおる」と答えたSちゃん
「れんらくちょう」「はし」などの言葉も話すことが増えてきた

取り組み後の変化　７月　表現の増加

Sちゃんが自ら表現するようになった事柄

これまでの「言葉」「行動」「指差し」

＋

物や活動を表す表現（手段は身振り）

トランポリン　　追いかけっこ　　シャボン玉

お絵かき　　ビニール風船　　ねんど

魚　　お茶　　給食

取り組み後の変化　７月　伝え合いの機会の増加

５月２１日の記録より

・示された２種の遊び場の写真から指差しで「トランポリン」を選択

・担任の音声を模倣「れんらくちょう」「おはよー」

受動的なコミュニケーション　機会は少なかった

７月１０日の記録より

・カブトムシのイラスト、プリンセスのティアラのイラストを指差し

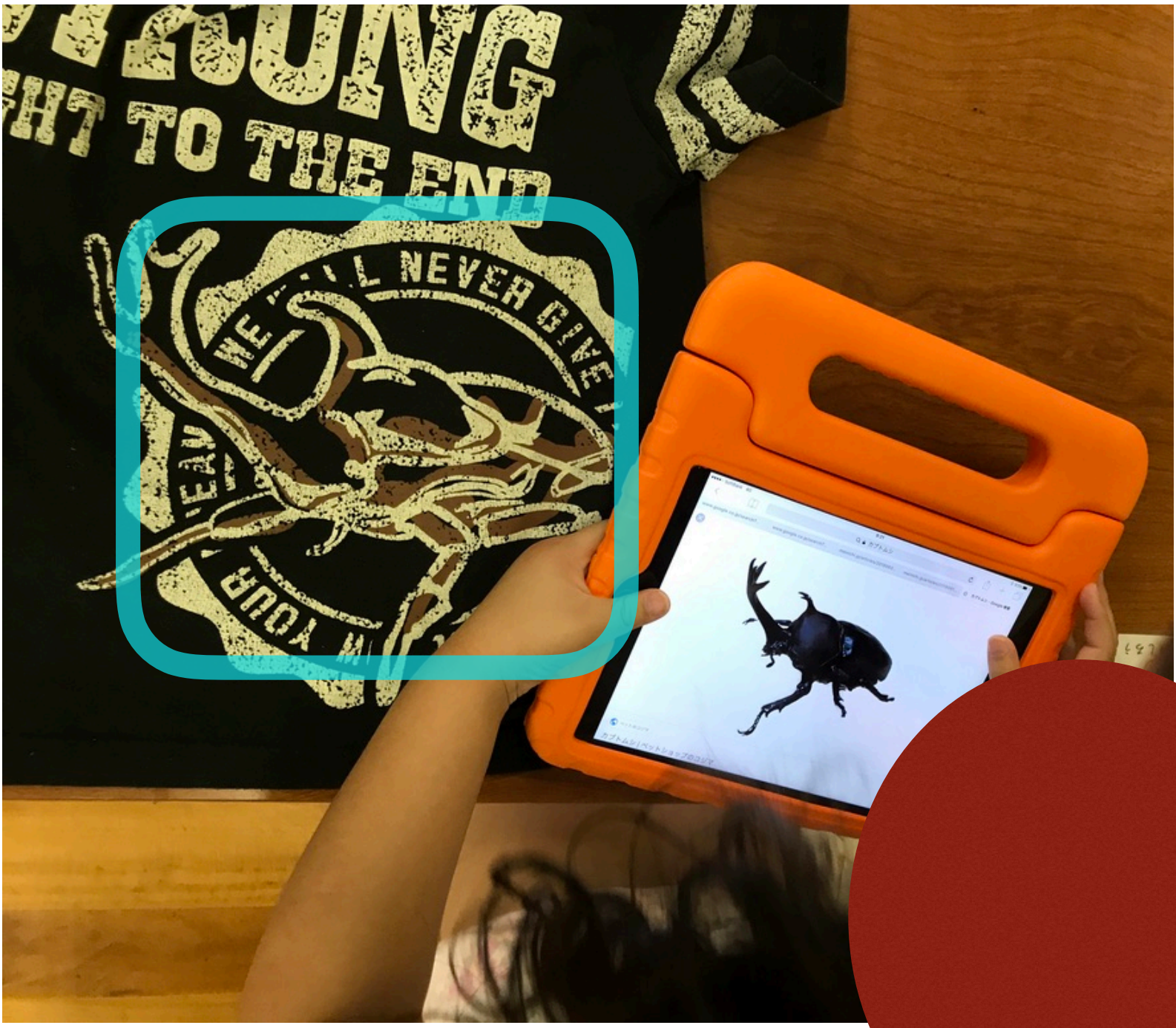
・友達が机に上がっていることを指差して伝える

・シャボン玉の身振り　２回

・貝殻の形のマカロニを手にのせて見せにくる

・言葉「せんせー」１回　「ままー」２回

能動的なコミュニケーションが増えた　機会が増えてきた


HT TO THE END

取り組み後の変化　７月

Sちゃん　指差しや言葉で応えようとする様子



指差しの機会や、やりとりの機会が増えてきた。「これ何？」と言う担任からの問いかけに、応じようとするSちゃん。

６月　Sちゃんの友だちへの意識が広がってきた



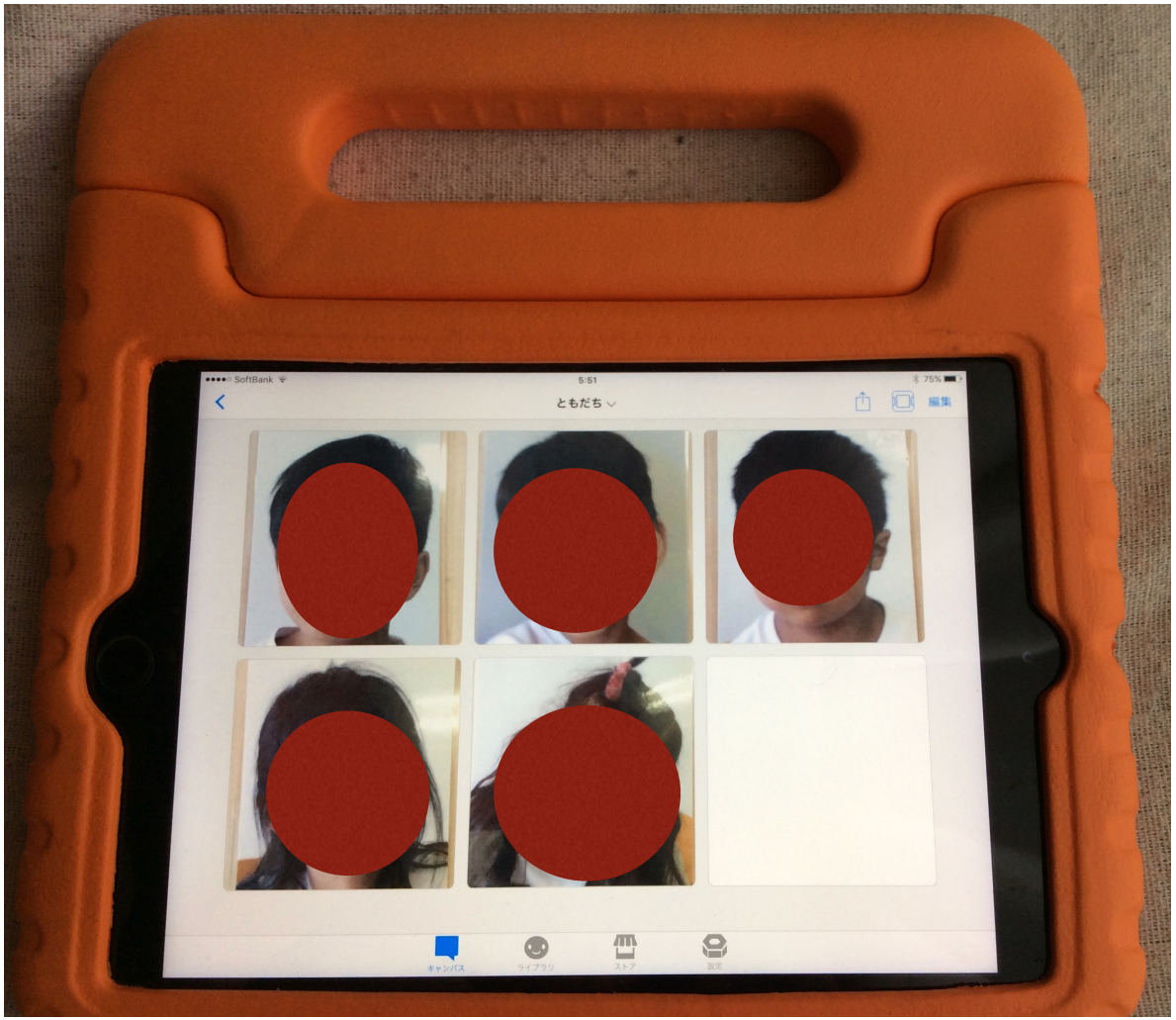


６月　友だちと一緒に行動するのが好きなSちゃん
友だちによって親密度が異なり、関わり方を変えている様子
特定の友だちに近づいて行ったり、一緒に遊ぼうとしたりする
クラスの友だちを一人一人を覚えている様子

6月

VOCAを使った新しい取り組み

友だちの名前を呼ぼう





アプリ：DropTalk



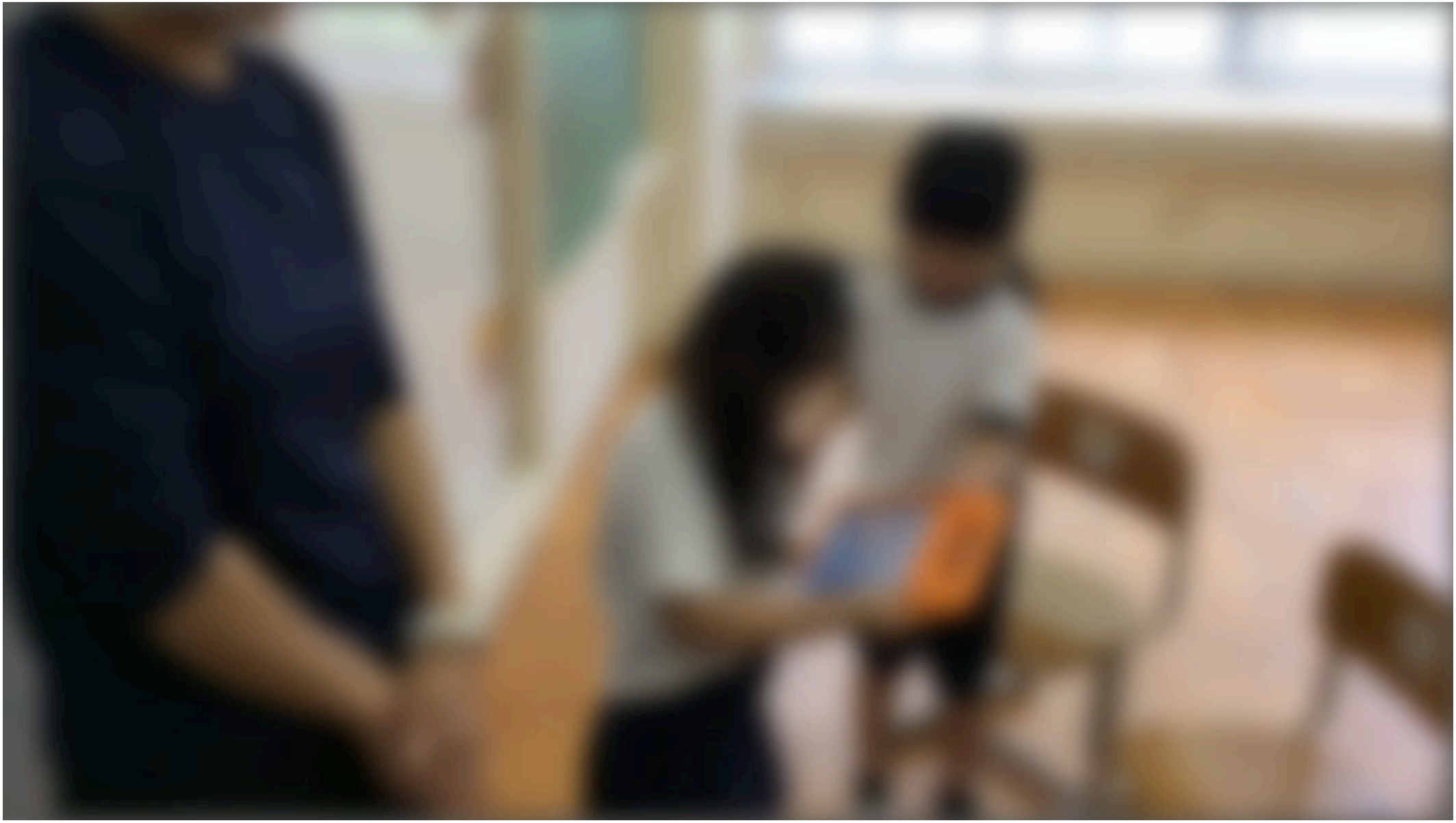
最初はiPadのタップに手間取っていたSちゃん。いろいろと試しながら徐々に自分でできるようになった。友だちそれぞれの写真をタップして呼名する。



Sちゃんがモデルにすることが多い仲良しのAちゃん。VOCAでの呼名を「わたしはいいの」と言っていたAちゃんと、Sちゃんの初ハイタッチ。



朝の会　友だち・先生の名前呼び



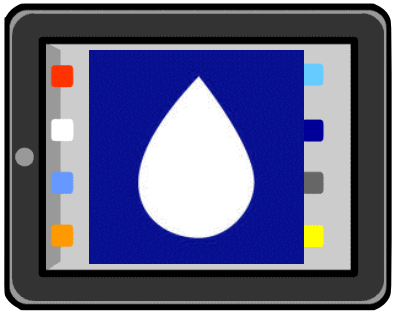
仲良しの友だちに見守られながら、自分の役割に自信を持って取り組むSちゃん。音声が流れるまで繰り返しiPadをタップ。

Sちゃんとのこれから

伝えられる事柄を増やすために

◉Sちゃんがすぐにでも使える手段は？

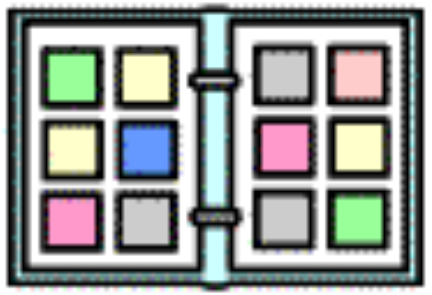
手段と表現内容を広げる



VOCA



身振り



９月からシンボルカードを使って見る予定

Sちゃんとのこれから

伝えられる事柄を増やすために

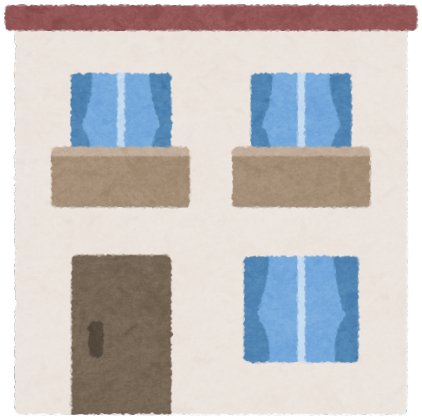
◉Sちゃんが獲得した表現が伝わる相手は？

相手を広げる



多くの友だち・先生

デイサービスの先生



家の人

学校のことを伝えて欲しい！

Sちゃんとのこれから

伝えられる事柄を増やすために

◉イメージと結びついた言葉を、ゆっくりと聞き、
ゆっくりと言葉に出して話す機会を持つ



iPadが
Sちゃんのたくさんの
伝えあいを支える
ツールとなるように。